



本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

開園 10 周年に向けて、プロジェクト好調に発進！

里山と古民家の本郷ふじやま公園は、来年2月に開園10周年を迎えます。現在、新たに記念事業プロジェクトを組織し、式典、記念誌、イベント等、7分科会の情報を共有しながら活動しています。2月15日の式典では、文化財表示の石碑の建立や記念植樹さらに4月のお花見に合わせた祝賀行事を計画しています。

分科会のひとつ、記念誌等の冊子発行については、これまでの10年にわたる公園のあゆみを年表にまとめ、行事や四季の風景などを盛り込んだ内容を作成しています。また、公園の案内パンフレットづくりのため、地形や樹木を確認しながら公園ウォッチングを行い、散策路にふさわしい愛称や樹木を盛り込んだ新たな公園マップを作る作業も実施しました。さらに、この間、公園を支えてきた人々の活動や行事、地域の姿を写真集にすべく準備を始めています。

イベントとして、能管コンサート、落語会、併せて手打ちそばの販売、鍛冶ヶ谷の伝統的郷土料理発掘などの企画が提案され、実施に向けて具体的な検討に入っています。

- 本郷ふじやま公園が、これからも多くの皆さんに愛され、地域交流の場となるよう取り組んでいきます。ご協力をお願いします。

公園シンボルマーク募集

期 限：9月15日(土)

応募資格：市内在住、在勤、在学の方

応募要領は公園窓口またはホームページで
優秀作品一点には素晴らしい賞品が。



立秋を過ぎたというのに日中の日差しはまだまだ厳しい。暑さが少し和らいだ夕方に公園に来てみると、秋を予感させる赤とんぼが涼しげに舞っていた。

“夕焼け小焼けの赤とんぼ とまっているよ 竿の先”と書いたのは、三木露風という大正時代に活躍した童謡作家だが、こちらの赤とんぼもちゃんと枯れ枝の先にとまってくれた。

ピンク色に染まった空を見上げてみると、もくもくと沸き上がる入道雲の上には、空を刷毛ですっと掃いたような秋の雲が浮かんでいる。農園では実りの秋に向けサツマイモが葉を繁らせ、コスモスも赤や白の花をつけ始めた。夕焼け空を眺めていると、秋の訪れを感じ取って子孫を残す営みを始めている動植物が、サッカーや水泳の応援で夜更かしが続き四季の変化に鈍感になってしまったわが身に、自然のリズムで生活することの大切さを教えてくれているような気がしてきた。





わんこソーメン流し



7月8日(日)は朝からはっきりしない空模様でしたが、予定通りソーメン流しを実施しました。来園者は定刻前から続々詰めかけ、引換券も順調に売切れました。前日から準備したソーメンを流す竹の樋の仕掛けは小さなお子さんもわんこが取りやすいように高さを低くするなど工夫をしました。そのためか一人で40個以上食べた人もいたとか?? 盛会でした。



七夕祭りとミニ笹飾り



ソーメン流しと一緒に七夕祭りがおこなわれました。ミニの笹竹が用意され子ども達は折り紙で作った鶴やハサミを使って作った提灯などの飾りをつりさげていました。天の神様のお願い事には「ウルトラマンになりたい」「このぼりにのりたいたい」「宇宙飛行士になりたい」などの短冊がありました。みんなかなえられるといいな～。同時に行われた輪投げ遊びも人気がありました。



歴史探訪 第69回 横浜の今昔探訪(その3) (24年7月5日)



行程：桜木町駅～鉄道創業の地ほかの碑～帆船日本丸～船渠建基碑～汽車道～新港埠頭～JICA国際協力機構～海上防災基地～赤煉瓦倉庫(自由解散) (参加17名)

「歴史探訪」も今回が69回、8月夏休み後の次回(9/6(木)予定)に第70回の大台に達します。「横浜の今昔探訪」シリーズは、5/10から始まり、6/7が2回目、今回はその3回目ということで、横浜港の中心部を訪れました。

桜木町駅を出ると、ランドマーク側の出口広場辺りに、「日本最初鉄道創業の地」ほかの記念碑があります。横浜 新橋間に日本最初の鉄道が開通し、初代の横浜駅はここにあったそうです。



旧横浜ドックに繋留されている練習帆船・日本丸を眺めながら、プロムナードとして保存されている「汽車道」を歩き、港旧臨港護岸や、モニュメントの錨、新港埠頭などを見て、JICA国際協力機構で小休止を取りました。ここからは、海上保安基地やハンマーヘッド・クレーン、旧横浜港プラットホームを経て、赤煉瓦倉庫に到着、ここで本日の行程を終了しました。



(古民家歴史部会 長谷川一郎記)

古民家 Q&A 欄間



Q：主屋上座敷と中座敷の境にある透かしは何ですか？

A：欄間と云います。欄間は日本の木造建築住宅の茶の間、客間等に鴨居または長押と天井との間に設けた開口部です。障子・板透彫り・組物をはめこみ、採光・通風・換気・および装飾用として取付けられました。はじめは寺院や上層階級で用いられましたが江戸中期以降は一般住宅でもみられるようになりました。種類として彫刻欄間、箴(オサ)欄間、組子欄間、透彫り欄間などがあります。旧小岩井家主屋の上座敷と中座敷との境のものは箴欄間を建込んでいます。箴欄間



とは細い木棧を縦横に組込んだ仕様のもので、絵柄や形は、それぞれ凝った組子細工や千本格子模様があります。旧小岩井家のものは千本格子模様です。なお、上座敷の付書院にも障子張りの組子欄間が組込まれています。比較してみてください。

ふじやま公園の植物

コマツナギ マメ科

野原や道端など日当たりのよいところに生え、高さ 40～90 cmの草本状の低木。本州、四国、九州、中国にも分布する。茎は斜めに伸び、葉は7～13枚からなる奇数羽状複葉でニセアカシアによく似ている。花はクズの花を小さくしたようなピンク色の蝶形花。茎は細いが馬も繋げるほど丈夫なことや馬が好んで食べる、などが名前の由来といわれる。花言葉は「希望をかなえる」です。



「栄区の昔を知り今の自然を楽しむ」イベント

栄区に所在する「埋蔵文化財センター」、「いたち川おたすけ隊」と「本郷ふじやま公園運営委員会」の3団体の協働事業として標記のイベントが計画されています。

日程：10月12日(金)、 行程：鍛冶ヶ谷バス停ファミリーマート前集合 宮の前横穴古墳(7世紀)見学 旧小岩井家住宅(1847年建)見学 富士塚見学 いたち川に触れる 天神橋で解散、定員：30名、などです。ふじやま公園では古民家や富士塚の解説と公園内の道案内を分担します。事業部会員の皆様のご協力をお願いします。詳細は9月号でお知らせします。

平成24年9月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	7日(金)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会	20日(木)	古文書解読勉強会	2日(日) 23日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	6日(木)
里山部会 作業	8日(土) 15日(土) 23日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	26日(水)	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	8日(土)
ホームページ制作打合せ	1日(土)	印刷	13日(木)

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
作って遊ぼう 子供工作の日	9月16日(日) 10時～12時 13時～15時	トコトコネズミを作ります	無料 当日受付	10時～11時 13時～14時 先着順12名
寺子屋Part (9月教室)	9月20日(木)13時～15時30分	土木・建築 雑学あれこれ	無料	9月12日(水) 15名
寺子屋Part (10月教室)	10月25日(木) 同上	庭作り(初級)作法を知っ て省略	無料	10月10日(水) 15名
布細工 (10月教室)	10月4日(木)、17日(水) 13時～16時30分	干支の“巳”を和布で作る (全2回)	1,000円	9月25日(火) 12名
布細工 (11月教室)	11月8日(木)、14日(水) 13時～16時30分	干支の“巳”を和布で作る (全2回)	1,000円	9月25日(火) 12名
創作人形 (全4回)	10月5日(金)12日(金) 13時～16時 19日(金)、26日(金) 9時30分～12時	バラの花を持つ愛らしい 少女	1,600円	9月20日(木) 6名
フラワー アレンジ	10月9日(火)13時30分～ 15時30分	プリザーブとアーティフィ シャルFで秋の演出	2,000円	9月25日(火) 8名
押し絵	10月10日(水)、24日(水) 13時～16時	「すいせん」の花 年の初めに飾れるように	1,500円	9月25日(火) 12名
いろいろ端むか し話の会	10月11日(木)10時30分～ 11時30分	いろいろ端で栄区や横浜近辺 に伝わる昔話や日本の昔話	無料	先着順15名
押し花	10月18日(木)13時～16時	秋の花の押し花絵額 18cm×10cm額	2,000円	9月30日(日) 10名
布ぞうり作り	10月23日(火)10時～15時	一日で一足完成します	500円	9月30日(日) 12名
造形遊び	10月30日(火)13時～15時	竹とつるを使い花入れを 作る	500円	10月15日(月) 10名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。



・・・お知らせ・・・

第11回古文書講座 10月28日(日) 13時30分～15時

演題：小岩井家文書を通してみるペリー来航前後の鍛冶ヶ谷村のすがた

講師：横浜歴史博物館 斎藤 司 主任学芸員

場所：古民家主屋 定員：50名 当日先着順 資料代：1,000円

7月ふじやま公園来園者数 1,340名 24年度累計 9,214名

・開館時間：9時～17時
・入館料：無料
・休館日：9月5日(水)
・クリーンアップ：9月4日(火)、18日(火)10時～11時

ふじやま公園運営委員会

247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：896-0590 FAX：896-0593